

平成21年度

児童用

「ゆうチャレンジ」(熊本県学力調査)

小学校 第6学年 国語

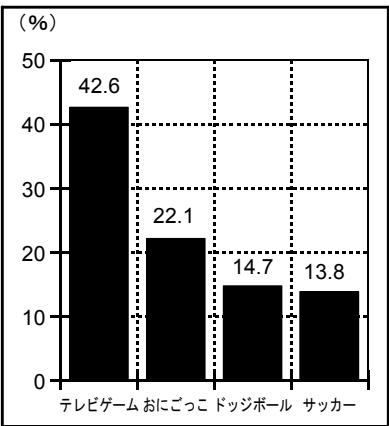
- 先生のはじめの合図で始めてください。
- 問題用紙は、5枚あります。
- 答えは、問題用紙の「解答らん」に書いてください。

○ 下の表とグラフを見ながら、**1** の音声問題を聞きましょう。

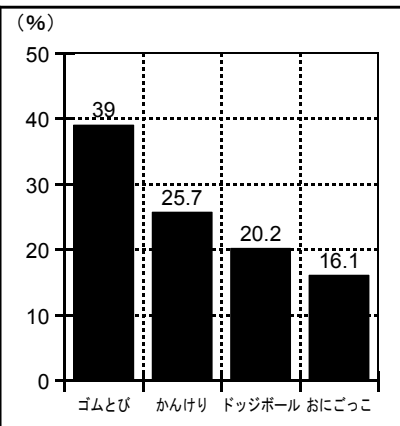
資料① 自然体験活動
(小4、小6、中2の3学年の合計)

自然体験活動	年	何度もある
チョウやトンボ、バッタなどの こん虫をつかまえたこと	平成10年	50.4%
	平成17年	35.1%
海や川で貝をとったり、魚を つったりしたこと	平成10年	41.9%
	平成17年	26.9%
大きな木に登ったこと	平成10年	24.2%
	平成17年	19.0%
太陽がのぼるところやしずむ ところを見たこと	平成10年	23.4%
	平成17年	19.5%

資料② 最近よく遊んでいる遊び
(小学2年生)



資料③ 子どものころよく遊んで
いた遊び(保護者)



学校名	
-----	--

年	組	番
名前		

熊本県教育委員会

(文部科学省ホームページ「子どもの生活リズム向上ハンドブック」)

1

今聞き取ったことをもとに、次の問題に答えましょう。

(1) 保健の時間で学習したことは何でしたか。次の に書きましょう。

①

(2) **資料②と資料③**を比べて、どのような意見が出されましたか。あとの の中に当てはまる言葉を書きましよう。

お父さんやお母さんの子どものころと比べると、このころの小学二年生は、

②

(3) このように一つのテーマについて学級で話し合う場合に大切だと思うことを、次のア～オから二つ選んで、記号で答えましょう。

ア テーマについての説明や話をよく聞き、話し合いの方向や流れをつかんで話す。
イ テーマについて自分の知っていることや体験したことなどをできるだけ多く話す。
ウ 自分の考えをしっかり持ち、考えを変えないように友だちに分かるように話す。
エ 先生や友だちの話を集中して聞き、話題に沿って、自分の考えをはっきりと話す。
オ 自分の考えがまわりの人に伝わるように、できるだけくわしく時間をかけて話す。

☐

③

☐

④

(4) 次は、あなたの考えを発表する番です。あなたの生活をふり返って、これまでの生活習慣とこれから変えていきたい生活習慣について自分の考えを発表するように書きましょう。

--	--	--	--	--	--

⑤

次の問題に答えましょう。

(1) 次の文の——線の漢字の読みがなを書きましょう。

な|じみ

⑥

簡|単に述べる。

⑦

各|国の首|脳が集まる。

⑧

① 幼|なじみと遊ぶ。

② 簡|単に述べる。

③ 各|国の首|脳が集まる。

める

⑨

日本を縦|断する。

⑩

④ 会|社に勤める。

⑤ 日本を縦|断する。

(2) 次の文の——線のひらがなを漢字に直しましょう。

く

⑪

き|けんな道をさける。

⑫

る

⑬

① 一|さつの本を読む。

② き|けんな道をさける。

③ 料|理を皿にも|る。

く

⑭

パソ|コンのそ|うさを学|ぶ。

⑮

④ 薬|がきく。

⑤ パソ|コンのそ|うさを学|ぶ。

(3) 田中さんの学級では、書写で学習したことをもとに、毛筆とフェルトペンで、画用紙に自分の好きな言葉を書き、教室にはることになりました。次は、その「ためし書き」です。どのようなところに気を付けて清書をしたらいでしょうか。あとのア～カから、二つ選んで、記号で答えましょう。

毛筆

フェルトペン



ア 毛筆の部分で、「一」と「日」の文字の間かくをせまくするとよい。
イ 毛筆の部分で、「一」と「善」の文字の間かくをせまくするとよい。
ウ 毛筆の「日」は画数が少ないので、「善」より大きめに書くとよい。
エ フェルトペンの部分では、用紙に余白ができないように書くとよい。
オ フェルトペンの部分では、上下左右に余白を考えて文字を書くときよい。
カ フェルトペンの部分では、ひらがなを漢字よりも大きく書くとよい。

□

⑬

□

⑭

(4) 春子さんが、学校へ行く途中には、たくさんの草花が咲いている花だんがあります。ある日、きれいな花だんと思っ

□

□

、ありがとうございます。

⑮

山中さんの学級では、国語の授業で「身近な環境問題」というテーマについて報告文に書いてまとめることになりました。新聞を調べていたら、次のような記事を見つけました。（①～⑥は、段落の番号を示します。）

【1】新聞記事から（①～⑥の段落の番号は、問題のために付け加えたものです。）

（「身近な環境問題」 熊本日日新聞社による。）

- (1) 右の新聞記事では、読者に記事の内容を伝えるためにいろいろな工夫がされています。工夫されていることを次のア～オの中から二つ選んで、記号で答えましょう。
- ア 見出しは、文字を大きくし、大切な内容を短い言葉でまとめて書いてある。
- イ 記事に接続語を使い、調査結果や観察した結果を取りあげながら書いてある。
- ウ 記事に関係のある写真をのせ、説明を加えることで分かりやすく書いてある。
- エ 筆者の意見をのせないで、事実だけをのせることで読みやすく書いてある。
- オ 筆者の経験やインタビューしたことを取り入れながら分かりやすく書いてある。
-

- (2) 「町の緑化」には、①どのような種類の植物がよく使われますか。②それは、なぜですか。理由を二つ書きましょう。

① 使われる種類

② 使われる理由

- (3) 右の新聞記事は、六つの段落で書かれています。この文章で筆者が一番伝えたことが書かれているのは、何段落ですか。段落の番号で答えましょう。
- 段落の
番号

- (4) 見出し、写真、そして記事の内容をもとに、筆者の考えをまとめることにしました。書き出しの言葉に続けて、二十字以内にまとめて書きましょう。

本当に環境をよくするためには、	
	が大切です。

◇ 新聞記事の中では、在来種が絶滅したり、姿を消しつつあることについて述べられていましたが、山中さんはこのことについてもう少し調べてみたいと思い、インターネットで、熊本県のホームページ「熊本の環境」を見てみました。

【2】 熊本県のホームページから（一部やさしい表現にしています。）

くまもとの希少な野生動植物

Red Data Book

（※1）

○ 草花の名前 ヒメユリ

草原に生育する多年草で、国内では、本州から九州にかけて点々と生えている。県内では阿蘇のごく限られた地域だけに自生（※2）



しており、7月初め、直径5cmほどの赤色の花を上向きに咲かせる。植林や草地改良などによって生育地である草原が激減しているのに加え、野焼きの中止による草原の荒れや、

盗掘（※3）によりヒメユリの数が減少している。

※1 希少な・・・少なくてめずらしい

※2 自生・・・自然に生えること

※3 盗掘・・・掘って盗みとること

http://www.kumamoto-eco.jp/static/contents02/red_databook/reddata23.html

熊本県の指定希少植物32種の一部（平成17年指定）

・ヒゴタイ



・ミチノクフクジュソウ



○ その他

・サクラソウ ・ヤツシロソウ ・オニバス など

<http://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/44/hogo.html>

(5) 次のノートの一部は、山中さんがインターネットで調べたことをまとめたものです。ノートの①には、どのような言葉を入れたらよいでしょうか。インターネットの資料をよく読んで書きましょう。

【山中さんのノート】

くまもとの希少な野生動植物	
<div>減少の理由</div> <ul style="list-style-type: none">・ 盗掘・ 野焼きの中止 ↓・ 草地改良	<div>ヒメユリ</div> <ul style="list-style-type: none">・ 多年草・ 阿蘇のごく限られた地域のみ・ 七月はじめ、五センチほどの赤い花
<div>盗掘</div> <div>野焼きの中止 ↓</div> <div>草地改良</div>	<div>盗掘</div> <div>野焼きの中止 ↓</div> <div>草地改良</div>
<div>オニバス</div> <div>ヒゴタイ</div>	<div>熊本県の指定希少植物32種の一部</div> <ul style="list-style-type: none">・ ヒゴタイ・ ミチノクフクジュソウ・ サクラソウ・ ヤツシロソウ・ オニバス <div>等</div>

①

②

◇ 左は、山中さんが書いた「身近な環境問題」というテーマについての報告文です。

植物の環境を守ろう

国語の授業テーマ

～在来種が消える～

「身近な環境問題」

六年 山中 京子

「緑化」は、すべてよいことか

みなさんは、緑化という言葉聞いたことがあると思います。

人が、ある場所に植物を植えることを「緑化」といいます。学校、公園、道路などいろいろな場所に植物を植えると、緑が増えて、環境がよくなるような気がします。

「A」、緑化は、本当にすべてよいことなのか考えてみる必要があると思います。

「在来種」と「外来種」

もともとその地域にいる生き物を「在来種」、遠い地域や外国から来た生き物を「外来種」といいます。今、この在来種である植物が少なくなり、絶滅するのではないかと心配されています。

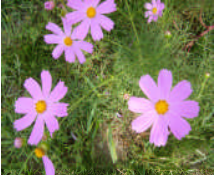


写真2 コスモス

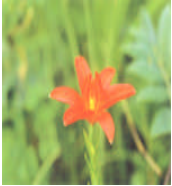


写真1 ヒメユリ

在来種には、リンドウや写真1のヒメユリという花などがあります。

ヒメユリ

特に、ヒメユリは、阿蘇の限られた地域だけに自生しているということで、熊本に住むわたしたちに深く関わりがある草花の一つだと思います。このヒメユリも、写真2の外来種であるコスモスやチューリップの花などをむやみに植えたり、植林や草地改良を進めたり、勝手に掘り起こしたりすることで、激減し、姿が見られなくなっているということです。

まとめ

わたしたちは、

みなさんは、緑化という言葉を

(6) 山中さんが読み直してみると、書き出しは読む人に問いかけるとような書き方で書いた方がよいと気がきました。右の文の ～～ 部を、読む人に問いかけるとような書き方に書き直しましょう。

(7) 「A」に当てはまる言葉はどれでしょうか。次のア～オの中から一つ選んで、記号で答えましょう。
ア そして イ しかし ウ だから エ このように オ つまり

(8) 山中さんの報告文の構成は大きく四つに分けられ、山中さんは、それぞれの段落に小見出しを付けました。中山さんが書いた報告文の構成についてふさわしいものを、次のア～エの中から一つ選んで、記号で答えましょう。

ア (事実)ー(話題の提示)ー(意見)ー(事実) イ (意見)ー(事実)ー(話題の提示)ー(事実)
ウ (話題の提示)ー(事実)ー(事実)ー(意見) エ (話題の提示)ー(意見)ー(事実)ー(意見)

(9) **まとめ** には、報告文のまとめとなる文章を書くことにします。「在来種」を守るために、あなたならどのような取り組みをしたらよいと思いますか。報告文全体の流れに沿ってまとめを書きましょう。

わたしたちは、